

帯広病院 21-4111
柳町医院 30-3111
白樺医院 38-3500
ケアセンター白樺 41-1165

十勝勤医協 友の会ニュース

医療法人 十勝勤労者医療協会

帯広市西9条南11丁目1番地

0155-21-4718

発行責任者 今野 光昭

URL: <http://www.tokachi-kin-ikyo.or.jp>
E-mail: soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp

先の総選挙では、国民生活を困難な状況に落としこんでいたこれまでの自公政治に「NO」をつきつけ、その悪政を終わらせる歴史的な国民的勝利を実現しました。



浅沼建樹 理事長

新たな政治情勢のもと、国民的要求実現の為に 旺盛な秋の大運動を展開しよう！

私達の要求を実現してゆくうえで有利な条件が生まれています。しかし、その実現の為に国会内外での私達の運動が必要とされていることも事実です。先の国会で参議院では野党共同提案で可決された「後期高齢者医療制度の廃止」「障害者自立支援法の応益負担廃止」「生活保護の老齢加算、母子加算の

復活」などについては細かなところでは若干のズレはあるものの私達の運動次第ですぐにでも実現できるものです。子育て関連、教育関係でも大きな全身を実現することも可能です。平和問題もあります。患者さん、地域の人達と力をあわせて大きな世論を作りあげてゆきましょう。

患者さんと本音で語り合える関係を目指して



帯広病院に入院中の患者さんには、人生最後の時を病院で過ごされる方もいます。私達は患者さんに寄り添い、少しでも心安らぐひとときを提供したいという思いで日々の看護を行ってきました。誕生日には手作りのメッセージカードでお祝いし、さくらの季節には車椅子の患者さんをお花見に連れ出し、夏祭りでは流しそうめんを行ったりと季節感を味わってもらえるような工夫もしています。

八〇代のAさんは膵臓癌で入院。癌告知された後も気丈に頑張っていたが、次第にベッド上の生活となり、残された時間を家族と共に快適に過ごして欲しいと二人部屋を提供。（差額ベッドは取っていません）家族が交替で付き添うことでAさんの気持ちも安定し、訪室時は素敵な笑顔で私達を迎えてくれました。ある時『子供の頃に過ごしたサホロに行きたい』と話され、主治医と看護師が付き添い外出を援助。美しい故郷の景色に涙するAさんと家族に主治医からのハートモニカ演奏のプレゼントは、心の奥に深く刻まれたことでしょう。外出から半月後、Aさんは家族に囲まれて安らかに旅立ちました。家族は『大好きな母でした。交替での付き添いは大変な時もありましたが、母とこんなに長い時間を過ごせたことはなく貴重な体験をさせてもらいました。弱音を吐かず頑張っていた母を誇りに思う』と話される。

九〇代のBさんは、大腸癌の診断にて家族の立ち会いのもとに癌告知をしました。本人からは『痛みの原因がわかり安心。自分の事を年寄り扱いせず本音の事を教えてくれて嬉しかった。』と晴れ晴れとした表情で話されていました。

本人の趣味が民謡であることを知り『民謡コンサート』を企画。娘さんの弾く三味線に合わせて素敵な歌声を披露してくれました。その後、退院されたBさんはデイサービスでカラオケを楽しみ、今も元気に在宅療養を続けており『なつてしまったものはしょうがない。これからも楽しんでいきます』と



在宅で元気に生活をされているBさん

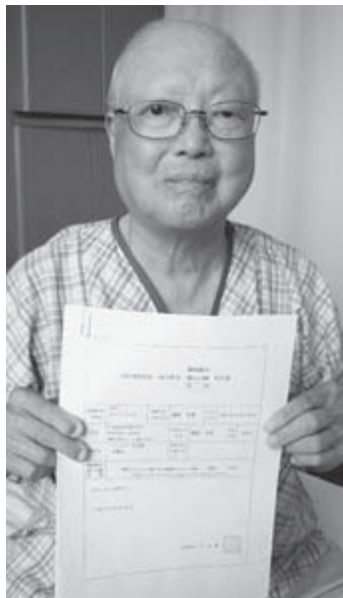
（帯広病院病棟部長 二瓶 弘美）

笑顔で話されます。家族は『告知されて良かった。お互いに病気の事を理解しているのも痛みが出た時の対処もスムーズに出来る』と話される。AさんとBさんは癌告知後も自分の人生を前向きに生き抜いています。癌と告げられた時点で生きる意欲を無くし大切な時間を悲嘆で終わってしまった方もいます。一番大切なのは本人の気持ちですが、それを支える家族の存在も大きいと思います。いつか必ず迎える『死』について元気なうちから家族とも語り合うことが必要なのではないでしょうか。また、慌てず穏やかな気持ちで悔いのない最期を迎えるためには、医療者任せではなく、ご自身の要望をきちんと伝えることも大切です。今後、私達は医療者である前に「ひとりの人間」として患者さんに向き合い本音で語り合える関係を作っていきたいと思っています。

聴診器

二〇〇九年八月三〇日、自公政権の退場が現実のものになった。国民の暮らしや平和を壊してきた自公政権に対し、有権者・国民がくだしたこの審判は、日本の政治にとって大きな前向き的一步である▼報道関係機関は、いろいろな角度からの分析を展開した。その中の一つに、開票日翌日、外国特派員協会が主催した講演（カーティス・スミコロンビア大教授）の一部にふれた記事がある。選挙戦全体で非常に興味深い点は、反自民フイーバーが国を覆ったことだ。人々は『変化』に投票した。自民党による国家の運営からの変化だ。民主党への期待からでない」と▼同感である。「良いことには協力、悪いことにはきっぱり反対」という立場での運動を展開しよう▼衆院選で、もう一つの結果にも注目すべきことが報じられていた▼「改憲派議員集団が大落選、衆院選一三九↓五三」という記事である。改憲の推進部隊であった者たちが、国会という活動の場を失ったことは、彼等にとっては大きな打撃である。しかし、私たちにとっては、大きな喜びである▼こんな時だからこそ、憲法を守る草の根の運動を更に大きく発展させ、憲法改悪の芽を根こそぎもぎ取ってしまおうほどの「馬力」が求められている。（高）

一部負担金が免除に！音更町が「国民健康保険一部負担金免除証明書」を発行



「国民健康保険一部負担金免除証明書」を手に、喜びの表情のAさん

前号で紹介した「国保法四十四条の規程による一部負担金免除」の申請をしていたAさんに対し、待つこと三週間、音更町は「国民健康保険一部負担金免除証明書」を発行しました。

音更町にはこれに関する条例や運用基準が無く、

これまで実績もないと聞いていますので、音更町では初めての適用です。たとえ条例や運用基準があっても、適用の条件が厳しく、ほとんどが申請しても却下または生活保護適用となるため、もしかしたら十勝管内でも初めてのケースかもしれない。

免除の期間はとりあえず三ヶ月間ですが、これによってAさんのように困難を抱えた人が救われる道筋ができましたし、今後は運用基準が整備されることを期待されます。

また、今回の音更町の対応はとても親切で、対応してくれた役場職員は親身になって相談に応じてくれ、複数の困難を抱えたAさんに対し、ワンストップサービスで諸手続（住民税非課税申請や標準負担額減額申請など）を手引きしてくれました。

このように、複数の相談事を抱えた町民が、できるだけ一箇所ですべての必要な情報を提供してくれることはとても助かり安心できます。

（柳町医院事務長

小田幸治

自分たちのピーススタイルを探して

全道JB in 道東

九月一二〜一三日、自衛隊の実弾演習の音が鳴り響く中、川瀬牧場（矢

白別演習場内）にて全道ジャンボリー（以下JB）in道東が行われました。

JBとは「ひとりぼっちの青年を作らない」を合い言葉に毎年全道各地で一〇〇名以上の青年職員が参加し行われています。

今年の全道JBには十勝から八名が参加し、「平和」をメインテーマに「医療人として、人間として自分の

今後のPeace Style（ピーススタイル）を考えよう」というテーマで行われました。一日目は、今年四月に天国に旅立たれた川瀬汎二さんの生き様や、自分の信念を貫いて生きた人たちの学びました。二日目は前日の夜から降り続いていった雨が朝になってもやまず、企画・閉会式は急遽室内で行われましたが、閉会式が終わる頃には、天候が回復し、二日間ですぐに晴れ、考えた自分のピーススタイルを書いた短冊を風船（土にかえる素材のもの）に取付矢



十勝から参加したメンバー

白別の大空に飛ばし終了となりました。参加者からは、「すべての戦争や貧困をなくすことは難しいけど、自分ができることをやっていきたい。とても楽しく学ぶことができた。」という感想も聞かれました。



居宅介護支援事業所白樺
在宅介護支援センター白樺
森田はるみ

居宅介護支援事業所白樺は要介護・要支援状態になった方が、出来る限りご自宅で自立した生活が送れるよう、利用者の心身の状況やご家族の意向を考慮したケアプランを作成します。現在ケアマネージャーは一〇名おり、合わせて二四〇件ほどのケアプランを担当しています。ケアマネの出身職種は看護師、歯科衛生士、介護福祉士など様々です。経験豊富な職員が介護保険サービスの手続きのお手伝いや事業所と

一緒ににはたしませんか？

将来一緒ににはたしませんか？

看護師募集
准看護師募集

（パート職員可）

奨学生募集

十勝勤医協帯広病院 師長室 渡辺
TEL 0155-21-4111
E-mail kango@tokachi-kin-ikyo.or.jp

お問い合わせは

友の会無料大腸がん検診

秋の大運動月間の10月〜11月、毎年恒例となっている「友の会無料大腸がん検診」を実施します。今年から、帯広市にお住まいの方は通年で無料で大腸がん検診を受けられるようになっていますが、この期間は、町村の友の会会員で40歳以上の方も無料で受けられます。友の会世話人が容器と返信用封筒をおとどけします。

年1回は大腸がん検診を!!

帯広市では、40歳以上の市民の方を対象に大腸ガン検診を通年で実施しています。40歳以上の友の会会員の方は「無料」です。大運動月間は、地域友の会の世話人が容器をお届けします。1年に1回は受検しましょう。詳細は、下記までお問い合わせ下さい。

十勝勤医協帯広病院 電話：0155-21-4111
十勝勤医協白樺医院 電話：0155-38-3500
十勝勤医協友の会連絡会 電話：0155-21-4144

医療・介護の現場から シリーズ⑨

「くらい？」などなど、疑問や心配事がありましたら遠慮なくご連絡ください。相談は無料です。

在宅介護支援センター白樺は帯広市から委託を

の連絡調整、住宅改修や介護用品の相談などお受けしています。「介護認定の手続きはどうすればいい?」「どんなサービスがあるの?費用はどの

受け地域の相談窓口として、高齢者やそのご家族からの様々な相談を受けたり、訪問して状況をお伺いし適切なサービスが受けられるよう支援しています。（担当地域は白樺・柏林台地域です）帯広市では介護保険サービス以外にも、ひとり暮らしやお身体に不安のある方のために配食サービスや緊急通報システム等のサービスがあります。また、介護に携わるご家族のライフシユ事業も行っています。「介護認定は受けていないけど、買い物や食事の支度が大変になってきた」「自宅で急病になった時が心配」など、介護保険外のことでも相談に応じます。お気軽にご連絡下さい。

実録！リハビリテーション

理学療法士 星山 等

今回はリハビリテーションの日常がどのように行われているのか、その様子を紹介していきたいと思います。簡単にご説明しますと、働く場としてはケアセンター白樺の中で行うリハビリと在宅で行う外でのリハビリがあります。ケアセンター白樺の中では、入所（泊まりの利用者さん）、通所（通いの利用者さん）、短期入所（数泊の利用者さん）のリハビリに分けられます。外では在宅で行う訪問リハビリがあります。更に入所と通所では個別のリハビリと個別性を重んじた集団のリハビリがあります。利用者さんそれぞれのケースに合わせてリハビリが提供できるよう多様性のある業務の形態になっております。今回は実際のリハビリがどのように行われているのか写真で紹介をさせていただきます。

入所リハビリ

泊まりの利用者さんが2・3階あわせて100名近く入所されております。全員に個別や集団のリハビリを提供しております。



個別リハビリ……

体を鍛えることを目的に大きいボールでのキャッチボール運動を行っています。真剣に取り組まれています。

集団リハビリ

週に数回、立ち上がりや足の筋力運動、指の運動を利用者さんにあった運動回数や運動方法で行っております。写真は、リハビリ助手（黄色のエプロン）の切っ掛けでみなさんが大きな掛け声で数をかぞえている所です。



通所リハビリ

ご自宅より通所に通われている利用者さんへ個別のリハビリが希望者全員に提供できるよう対応しています。最近始めた小集団で行う回想法では、参加される利用者さんに笑顔がよくみられるとともにお話をされたり、利用者さん同士で積極的に交流されることが多くなったり、職員がその様子を驚きを感じつつその反応を大切にしながら、職員も利用者さんと一緒に楽しんで実施しております。

個別リハビリ……

車椅子を使用されていても歩く条件がある利用者さんには積極的に歩行運動を行ってもらっています。



個別リハビリ……



写真手前の自転車漕ぎ運動は足の運動になると好評を頂いております。

写真手前の自転車を漕ぐ運動が終了し休憩を兼ねてリハビリ技士（作業療法士）と談笑している利用者さんです。

回想法

写真左下の尋常小学校（昭和8年頃）で実際に使用していた貴重な教科書をお借りして回想法を行っている所です（現在は教科書を返却しております）。回想法とはテーマとなった背景より自分の体験を想起させる治療法です。その時の思い出など他の利用者さんと共有できる事が楽しみに繋がっていきます。他には昭和30年代の帯広の街並みなどをテーマとして提供しております。現在は援助者2名に対し、利用者さんは4～5名での状況で実施しております。



訪問リハビリ

ご自宅にリハビリ技士が訪問してリハビリを提供しています。今年6月より始まった新しいサービスです。写真は不安定な環境での移動運動として、芝生の上や階段の昇降などを行っている所です。他には、自己運動を資料として作成しお渡ししたり、ご自宅の環境で転倒の危険がないか評価し住宅改修をしたり、と幅広いリハビリを心掛けて提供しております。



【おわりに】

通所では個別リハビリや回想法の他に、体力に自信がない方向けの小集団体操も実施しております。訪問リハビリも併せて対象の利用者さんをまだまだ募集中です。ご興味を持たれましたら担当のケアマネージャーさんか、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

ケアセンター白樺

TEL 0155 (41) 1165・代表

FAX 0155 (41) 1161

“新型インフルエンザ”が流行しています インフルエンザを理解してあわてず対応しましょう

◆インフルエンザにかかるとどのような症状がでますか？

インフルエンザの症状は、基本的に「新型」でも「季節性」でもほぼ同じとされています。インフルエンザに感染してから、約1日から5日間で症状が現れます。

症状の特徴は、

★急な発熱（38℃以上） ★咳 ★のどの痛み ★鼻水 ★熱感等の症状 ★まれに下痢・嘔吐 などです。

同居されている身近な方などインフルエンザにかかり、その方と濃厚に接触した可能性がある場合、接触してから1週間以内にこれらの症状が出た場合はインフルエンザに感染した可能性が高いと予想されます。

インフルエンザに感染したかどうかについては、医療機関で簡単な検査で診断することができます（ただし、陰性と判断された場合でも感染している場合がありますので、症状が続くときは医療機関にご相談ください）。

◆インフルエンザにかかったと思われる場合、どうしたらよいですか？

◇普段、健康で普通の日常生活を送っている方の場合

インフルエンザは、通常2日～5日間の高熱が続き、2日～7日程度で治ります。十分な栄養・水分と睡眠をとれば自然に治る病気です。

普段からインフルエンザにかからないように、健康状態を保つことを心がけましょう。

咳や発熱などの症状がでたら、最寄りの医療機関やかかりつけ医に相談し、必要な場合は早めに受診しましょう。

◆大切なのは予防です。

かからないこと、広げないことが基本です。◇十分な栄養、睡眠などを確保して健康状態を保つことがまず大切です。インフルエンザに限らずすべての病気に対する基本ですので、大切にしてください。

◇流行期に大切なのは、咳エチケットを守ることと、外出後の手洗いをしっかり行うことです。

◇不用意に人ゴミに出かけないこと。人ゴミではマスクを使用しましょう。



八月二日、九日の二週に分けて外出レクリエーションで帯広動物園に出かけました。新しくさる山も完成し、すこし新しくなった動物園見学で、みなさん楽しみにしていました。二日は出発前まで雨でしたが、動物園に着く頃には止みその後は降る事なく天気ももってくれました。九日は朝から晴天で少し汗ばむ陽気でしたが、体調不良になる方も出ず園内を回ることが出来ました。

利用者の中には動物園に来たのが初めてという方もいらして、ふれあいコーナーで間近でやぎやひつじを見ることができ大変喜ばれていました。今回はご家族の方の参加が少なかつたので、今後の外出レクリエーション

ケアセンター白樺

動物園への 外出レクリエーション

来ました。

今回ご家族の参加も募り、二、九日共に一家族ずつの参加でしたが利用者と一緒にご家族も楽しい時間を過ごされていました。



の時には多くのご家族の方が参加して頂けるように日程などの工夫をしていきたいと考えています。
（ケアセンター白樺 二階療養棟介護福祉士 山上 登）

